

平和と登山のページ (2023 年 12 月)

平和と登山委員会 文責：大西清見 (泉州勤労者山岳会)

第 53 回戦跡ハイキング 11 月 25 日 (土)

舞鶴赤レンガ記念館～大江山山系杉山・宇野ヶ岳

第 53 回戦跡ハイキング、天候等の諸事情で行程を変更して「舞鶴赤レンガパーク～大江山山系杉山・宇野ヶ岳」を実施しました。参加者：吹田 3 名、きたろう 2 名、くまごろう 1 名、泉州 1 名 計 7 名、天気予報は雨のち曇りでしたが、ほぼ一日、時々晴れ間がみられるなど天候に恵まれました。舞鶴赤レンガパークの建物は 1902 年ごろに建てられた物、レンガの建造物の持つ魅力や歴史に触れることができました。壮大に 8 棟が並んでいる赤レンガ館、港にレンガ館と潮風が出会う町の雰囲気伝わって良かったです。杉山～宇野ヶ岳は宮津エコガイドの中川昭一さんに案内していただきました。100 本以上の巨大杉群に圧倒され、宇野ヶ岳から宮津湾、天橋立への眺望が素晴らしかったです。歴史ある街歩き、自然豊かな大江山山系の山歩き、7 名の楽しい丹後の一日でした。(大西清見)

戦跡ハイキング (赤レンガ記念館と宇野ヶ岳～杉山) の感想

参加者(7 名) 大西清見・園敏雄・石野明子・日置勲 泉田靖子・夷愛子・又吉千智

25 日、予定通り 6:45 分大阪駅で集合し、一路宝塚～舞鶴方面へ。曇り空の為か？猛暑の影響か？車窓から見る紅葉は色づき悪くイマイチである。ところが、舞鶴自動道に入ると青空も見え始め、一面自然林の里山は見事に全山紅葉し色づきも良く右に左にと楽しむ事が出来、素朴な里山の美しさを改めて見た気がした。

9 時過ぎ、楽しみにしていた念願の舞鶴赤レンガ記念館着。明治 36 年、フランス式レンガ工法での建築物との事。100 年以上も前にこれだけ精密で立派な建築物が人力で作られた事にも驚くが、これ程美しい状態で維持管理されていることにも感激したし、足元には魚雷でも運び込まれたのだろうか？ 昔のままの線路が微かに残っているのにも歴史を感じ、人の力の偉大さを思い知った一コマだった。

昼食は「とれとれ市場」で、イカのゲソやサバの丸焼きを初めて会ったメンバー 7 名で分け分けして同じものを食べたのも楽しい思い出。

昼食後は、青空で光る美しい日本海沿いを一路ガイドさんの待つ「普甲峠」へ。峠でガイドの中川さんと合流し、鍵付きの林道を終点まで登る。ところどころで参勤交代時に歩かれた道 !! 嫁入りの時に山越した道 !! はたまた万葉の時にも歩かれたであろう道 !! など説明を受け、林道終点からは数百年は経つであろう大杉の数々の説明を受けながら、苔むした静寂な山歩きを楽しんで宇野ヶ岳 (694m) へ。宇野ヶ岳山頂から見る天橋立は、名前の通り湾に橋を架けるようで見事だった。その後、オマケで風穴を見て杉山 (697m) へ。

地元の方々が、今も歴史ある山を守るために鹿よけを作り、倒木の処理や整備など地道な作業が続けられていることに頭が下がり感謝の念を伝え 4 時半過ぎ、上宮津を後にした。

歴史の重みと同時に、近年話題の「鹿の害」で山肌がむき出しになり自然が荒れる様子を目の当たりにし、考えさせられる一日となった。(吹田芳山/泉田靖子)



宇野ヶ岳山頂にて



案内してくださった中川昭一さん（1945 年生）

上宮津・杉山ガイド部会のホームページでの中川さんの紹介文です

私がこどもの頃から親しんだ杉山。近年ここに林道が開設され、苦勞なしに山中に入ることができます。ここには、300 年～400 年の樹齢を誇る天然杉の群落が残し、林道の開設で日当たりが良くなった法面には、新たに草木が芽吹き、杉山の生態系を縮図化したような状況になっています。最近になって、ここに生息する動植物の名前を覚えたこともあり、私なりにこの杉山への愛着心が大きく膨らんでいます。私の心の内を多くの方に届けたいと思うこのごろです。（上宮津・杉山ガイド部会）